おんがく広場
Facebook,Twitterにも掲載／リンクフリー／御自由にコピーして下さい
♪Music Square♪
第181'号
令和2年(2020)4月10日創刊
令和4年(2022)7月22日(金)
発行・クッキー会　発行責任者・加藤良一
連絡先　rkato@max.hi-ho.ne.jp

東京六大学OB合唱連盟演奏会
7月17日(日)東京芸術劇場コンサートホール

この演奏会は、1999年第1回を開催し、2002年の第2回以降、2018年の第10回まで隔年で開催されてきました。しかし、2020年5月31日に予定していた演奏会はコロナ禍で中止となり、幻の**第11回東京六大学OB合唱連盟演奏会**として記録されることになりました。

そして迎えた7月17日、新型コロナウイルス感染症第7波が取りざたされる中、4年振りとなる第12回演奏会が行われました。

1.**明治大学グリークラブOB会合唱団駿河台倶楽部**
男声合唱とピアノのための『新しい歌』
2.**法政大学アリオンコールOB会・男声合唱団オールアリオン**
男声合唱と小鼓のための『美女打見れば』
3.**早稲田大学グリークラブOB会・稲門クラブ**
男声合唱とピアノのための組曲『夢の意味』
4.**慶應義塾ワグネル・ソサイエティーOB合唱団**　Widmung(献呈)・Nänie(哀悼歌)
5.**東京大学音楽部OB合唱団アカデミカコール**
グノー ミサ曲第2番ト長調
6.**立教大学グリークラブOB男声合唱団**:『美しき乙女たちへ』～ルコント・ド・リールの詩によるフランス歌曲集
7.**合同演奏: エール交歓**

どの団体も思うような練習ができず、開催が危ぶまれる状況が続く中、「2022年7月17日開催」を内定したのが2021年2月でした。ところがその後も感染状況が改善せず、練習を再開してもメンバーが集らないという厳しい時期を過ごしていました。

例えば、東大OBでは、2020年7月から練習を再開し、2021年3月ミニコンサート、6月現役の学生支援を主にしたOB会交歓演奏会を開催し、なんとかつないできました。今回のステージに向けた練習を開始したのは今年1月で、当初は20人ほどしか集まらず、4月時点ではオンステ30名を覚悟したといいます。

しかし、幸いなことにその後メンバーが徐々に増え、本番ではトップテナー15、セカンドテナー13、バリトン13、バス11の計52名が揃いました。

肩と肩の間が1mあれば ノーマスクOK

メンバー同士が1mの距離を確保できれば「マスクなし」が認められました。

ただし、この演奏会の目玉である参加者全員がオンステする**合同演奏**では、この規定から外れて密になってしまうため、各団で苦渋の選抜をしなければなりませんでした。

東京芸術劇場コンサートホール(約2000人収容)では、5月に緩和された「クラシック音楽公演における新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」に沿って、それまで「合唱が出演する公演では、概ね60人以下の歌手」とされていた上限が撤廃され、160名まで許可されたのが、公演直前の7月になってからでした。このホールが160名を許容するのはコロナ禍がはじまって以来初めてとのこと。それでも到底全員がオンステすることはできません。

そこで、ステージ両サイドの上にあるバルコニー席にも立って演奏し、なんとか迫力のある演奏を維持できたのだと思います。

この演奏会の**合同演奏**は、全員が全校のエールを一緒に歌います。各団の指揮者が前に出て、自分の学校のエールを指揮します。従って、古くから歌っている人は、6大学すべてのエールを知っていることになります。

男声合唱の優しさや女声ではなし得ない迫力は多くの聴衆を魅了してやみません。次回第13回演奏会は順当にいけば、2年後ですが、果たしてそれまでにコロナ禍は収束しているのでしょうか。開催を心待ちにしているファンはたくさんいます。